

2018年4月27日

東海旅客鉄道株式会社

2018年3月期（平成30年3月期）決算説明会 主なQ&A

（社長就任の抱負）

Q. 社長就任にあたり、特に注力したい分野はあるか。

A. 私どもが営む鉄道事業の基本は安全であり、今後当社が、東海道新幹線、在来線、及び関連事業の各事業を確実に進め、また、中央新幹線計画を進めるにあたり、その大前提となるのも安全です。したがって、安全に仕事を進める力を積極的に付けていくことに注力してまいります。

（今年度の業績予想）

Q. 今年度の運輸収入の業績予想について、対前年100.8%の増収見込みとした理由は。ここ数年間は運輸収入の予想は横ばいと見込まれてきたが、景気動向をより強気で見通しているのか。あるいは、これまでと業績予想の考え方を変えたのか。

A. 引き続き景気は緩やかな拡大が見込まれており、足元の輸送動向を見ても現在の基調が継続すると想定されます。このような環境において、「のぞみ10本ダイヤ」を活用して、需要にあわせた、より弾力的な列車設定に取り組むほか、沿線各地の観光施策に積極的に取り組むこと、沿線のテーマパークへのご旅行などの需要を確実に取り込むことで、上期で+1%、下期は不確実性が増すことから+0.5%、通期では+0.8%を見込む計画としました。収入は景気動向等により左右されるところがあるので、慎重に、且つ確実に見込む姿勢を従前からとっており、今回の業績予想も同様の考え方で見込んだ結果です。

（中央新幹線計画）

Q. 中央新幹線の設備投資のペースがやや遅い印象を受けるが、工事の進捗に遅れはあるのか。また、昨年度も設備投資の実績が計画値を下回っているが、どのように受け止めているか。

A. もともと 2027 年の開業に向けた工程はタイトですが、南アルプストンネルや、ターミナル駅となる品川駅や名古屋駅の工事など、工期が長期間に亘り難易度が高い工区から工事契約を締結し、工事を進めています。設備投資額は着実に増加してきており、今後も、工事の安全、環境の保全、地域との連携を重視しながら、全力で進めていく考えです。

なお、2017 年度の中央新幹線の設備投資は、相手のある用地取得も含まれるので、1,590 億円の計画に対して 1,342 億円の実績となりましたが、概ね計画通りに進捗していると認識しております。

(中央新幹線計画)

Q. 中央新幹線の名古屋・大阪区間についての進捗状況は。

A. 今は名古屋までの開業に向けて、全力投球しています。名古屋から大阪までの計画を進めるにあたっては、まず環境アセスメントを行う必要がありますが、今はまだその段階にはありません。現在は、各県の事情等を聞かせて頂いて、将来環境アセスメントを始める前段階の準備を進めているという状況です。財政投融资を活用した長期借入について、政府からも、大阪まで早く開業できるよう応援を頂いたと認識しており、名古屋開業が実現した時点で、大阪への工事に速やかに着手できるよう取り組んでまいります。

(中央新幹線計画)

Q. 中央新幹線計画の説明の中で、日本経済を活性化させて、御社の存立基盤を確立することが株主利益に寄与するという話があったが、中央新幹線計画の株主にとっての価値について改めてお聞きしたい。

A. 当社の経営理念である、日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する、というのが私どもの使命であり、それを実現することが株主様への責任を果たすことになる、と考えています。したがって、安全に関する投資は確実に進めた上で、新幹線や在来線のサービス向上を図り、それにより利益を出しながら、多額の投資が必要となる中央新幹線計画を着実に進めて、将来に亘って使命を果たしていくことが株主様にとっての価値につながる、と考えております。

(株主還元の考え方)

- Q. 財政投融资を活用して3兆円の借入を受けたこと、また直近のフリーキャッシュフローの水準を考慮すると、中央新幹線建設等の備えという事情があったとしても、もう少し株主還元を増やしても良いのではないか。御社の株主還元の考え方について、改めてお聞きしたい。
- A. 品川・名古屋間の建設費が約5.5兆円、そのうち新たに借入れが必要と見込まれる額が約3兆円であり、その3兆円について低金利状況を活かした長期、固定且つ低利の財政投融资を活用した長期借入により、経営リスクが低減されました。しかしながら、今はまだ中央新幹線建設の前半の段階であり、これから起こり得る様々なリスクがあると思います。例えば、今は堅調な景気も、将来は減速するかもしれません。工事費も、もしかしたら現在の想定よりも増える状況となるかもしれません。こうした様々なリスクにも対応しながら計画を着実に進めていくために資金を確保し、経営基盤をより強固にすることが必要と考えております。こうした考えに基づき、健全経営と安定配当を堅持しながら、中央新幹線計画を着実に完遂する考えです。

以 上